

# CASBEE 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カナート洛北増築工事	階数	地下1F、地上4F
建設地	京都市左京区高野西開町38-36-1, 36-2, 36-3, 36-4, 36-5, 36-6, 36-7	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	520 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年7月2日
敷地面積	19,132.73 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所 山田義浩
建築面積	5,295.12 m <sup>2</sup>	確認日	2018年7月3日
延床面積	22,900.62 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所 山田義浩



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	76%
③上記+②以外の	76%
④上記+	76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 東側2階にデザインされた格子状ルーバーを採用し、昼光利用に配慮している。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> 内装材は全てF☆☆☆☆を使用。	<b>Q2 サービス性能</b> 内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 可能な限り緑地を配し、敷地内の環境にも配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明、太陽光パネルの設置。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型トイレの使用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される